

「海と日本PROJECT」 全国一斉ウニの発生体験

2022年冬バフンウニ(一般参加枠)

オンラインイベントで全国の参加者(一般&学校単位での参加者)たちと交流しながら、ウニの受精実験や幼生飼育を通して海を学び、海を表現します



2021年冬の表現作品コンテスト
アート部門 グランプリ作品
「漂う命」とまる

ウニ卵精子の提供、2月15日到着
申込締切は12月28日

オンライン相談会
2023年2月16日(予定)

オンライン報告会
2023年3月中旬

表現作品コンテスト

(2023年3月 開催予定)

写真や観察レポート、アート作品などの作品紹介と相互投票によるグランプリ決定

申込: 以下のウェブサイトのイベント案内ページ内にある申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、wangan@cc.ocha.ac.jpまでメール添付で送ってください。定員は15件です。定員を過ぎた場合には希望通りの受付ができないことをご了承ください。

ウェブサイト(リンクはトップページです)ので新着情報などから冬のイベント案内に飛んでください)
<https://www.cf.ocha.ac.jp/marine/index.html>
(お茶大湾岸センターのサイト)
<https://sites.google.com/view/ocha-ocean/海洋教材の提供2022>
(プロジェクトの専用サイト2022版)

送付する教材

・ウニの未受精卵と精子

発生の実験材料として、成体のウニではなく、未受精卵と精子を送付します。一通りの実験器具もセットでお届けします(右写真)ので、顕微鏡だけ準備していただければ簡単に本格的な受精実験が行えます。



・植物プランクトンと動物プランクトン

珪藻(植物プランクトン)を培養し、それを餌にウニの遊泳幼生(動物プランクトン)を育てて教室で海の生態系の一部を再現します。発生実験に引き続いての幼生飼育を希望する場合はこちら合わせて申し込んで下さい。



珪藻培養セット

ウニ幼生飼育装置

